

氏名	ASILOGLU MUHAMMET RASIT
所属・職位	農学部 助教
申請タイトル	原生生物研究の論文の発表（3つ）
申請目的	IF10 点以上（1 本）、IF5 点以上（2 本）を含む国際誌に筆頭 or 責任筆者として 3 本論文をアクセプトする。
申請内容	令和 4 年 4 月に出来た新しい研究室（原生生物学研究室）を目出すため原生生物の論文を増やす目的にしています。そのため、令和 5 年 3 月までに 3 つ論文を Soil Science のトップの雑誌でアクセプトされることがチャレンジにしている。
活動報告	<p>2 本の論文を発表し、3 本目の論文は現在査読中（第 2 段階）です。</p> <p>1 本目の論文 Soil Science 分野のトップジャーナルである Biochar（IF：11.452）誌に査読付き総説 1 編が掲載された。</p> <p>「単著」 DOI: https://doi.org/10.1007/s42773-022-00195-6</p> <p>2 本目の論文は Biology and Fertility of Soils（IF：6.605）誌に査読付き総説 1 編が掲載された。</p> <p>「二著」 DOI: https://doi.org/10.1007/s00374-023-01705-9</p> <p>3 本目の論文は Biology and Fertility of Soils（IF：6.605）誌にて現在査読中です。3 本目の論文には前向きなコメントをいただいたので、近いうちに出版されると思います。「複数著者」(※)</p> <p>3 つの論文すべてで corresponding author または last author を務めていまして、3 つとも原生生物についての論文でございます。</p> <p>(※) 3 本目の論文は Biology and Fertility of Soils（IF：6.605）誌に査読付き総説 1 編が掲載された。</p> <p>「複数著者」 DOI: https://doi.org/10.1007/s00374-023-01733-5</p>

※上記の内容は、新潟大学教員活性化応援制度（チャレンジマイル制度）により令和 4 年度に申請及び活動報告された内容を記載しております。（申請期間：令和 4 年 10 月～11 月，報告期間：令和 4 年 11 月～令和 5 年 3 月）